



群馬県立大泉高等学校 植物バイオ研究部

群馬県邑楽郡大泉町北小泉2丁目16番1号

茂林寺沼湿原における保全活動

～『日本遺産』の原風景再生を目指して～



Action

茂林寺沼湿原は、分福茶釜で有名な茂林寺の北側に広がる湿原です。令和元年には、里沼の原風景と文化の共存という視点から「日本遺産」に認定されました。この原風景の象徴となる植物がカキツバタです。しかし、来訪者による外来植物の定植などにより、カキツバタの生育環境が奪われています。そこで、私たちは館林市教育委員会と協力しながら、以下の3つの活動を継続しています。

①カキツバタの増殖

バイオテクノロジー技術を活用した無菌播種法で、増殖効率を高めようとしています。

②外来植物の除去作業

湿原内に増殖する外来種は、キショウブなど数種類が挙げられます。館林市教育委員会や地域の方々と連携して、定期的な除去作業を実施しています。

③環境保全を呼びかける活動

原風景を再生するためには、地域の方々を中心に「保全の視点」を広げる必要があります。定期的な学習会や、ポスターを活用した周知、地域中学校にも出前授業を行っています。